

2025年
迎春

憲法理念（個人の尊厳・平和原則）を活かし 国民の願いに沿った政治を

きっと日本共産党の真価が輝いてくる

日本共産党後援会、「しんぶん赤旗」読者のみなさん、
新年おめでとうございます。

昨年の総選挙で近畿ブロックでは目標の3議席には及ばなかったものの、改選2議席を確保し、踏ん張ることができました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

同時に、総選挙は「一票の力はすごい」と思われる結果でした。何よりも裏金に無反省な自公を一夜にして少数に追い込みました。国民にとってたかひがないのある時代の始まりです。最低賃金1500円、学費無償化、消費税減税、選択的夫婦別姓、カジノと一体の万博ストップなど譲れない願いを実現するために力を合わせましょう。その中で、きっとブレない党・日本共産党の真価が輝いてくるでしょう。

夏の参議院選挙。比例代表では5人を「ワンチーム」で国会に送ってください。選挙区でも勝利し、始まった「政治のプロセス」を前に進めましょう。私たちも全力をあげます。今年もよろしくお祈りします。

2025年1月日本共産党

▶副委員長・参議院議員（参議院比例代表予定候補）

山下よしき

▶衆議院議員
辰巳孝太郎



▶衆議院議員
堀川あきこ



ある高齢の女性がつぶやいていました。どこまで物価は高くなるんやろう」と。年金は下がる一方、現役世代の給与は少しばかりの引き上げでは物価高に追いつきません。日頃、政府批判を避けるNHKの解説でさえも苦言めいたコメントが放映されていきました。

昨年10月の総選挙では裏金事件の追求で自民党政治の本性がリアルに暴きだされ、自公の政権与党が過半数割れにおいこまれました。追い込んだ「立役者」が「しんぶん赤旗」と日本共産党国会議員団の論戦力、地方で赤旗を支える読者のみなさんと地域の党員だと日本共産党は明らかにしています。

何千万円という大金を懐に入れられる自民党の国会議員には庶民の苦しみはわかっても「えん」とは良く聞く話です。



役場交差点角に「平和の礎」のモニュメントが11月に建立されました。礎石に刻まれた言葉によれば「…戦没者のご冥福を祈り、町民すべてが世界恒久平和の実現を願って、この『平和の礎』を建立する」とされています。私たちは「2度と戦争させない」誓いこそが大切ではないでしょうか。

ハコモノ・開発よりも、 くらし・福祉優先の町政を

過半数割れした自公政権の思い通りにはいかなくなった国会の力関係のもとで、くらしを守る様々な施策実現の展望が開ける。新しい政治のプロセスが始まった」と見えています。

甲良町政においても尼子駅前宅地造成や池寺地先の産業用地開発などには疑問・不安の声が寄せられています。物価高騰から庶民の暮らしと農業・小零細業者の暮らしと生業（なりわい）を応援する施策こそ優先しなければなりません。

日本共産党は政治のプロセスが前に進むようみなさんと力を合わせてまいりますので、どうぞよろしくお祈りします。



甲良民報

2024年12月29日・25年1月5日 939号
発行責任：日本共産党甲良町支部
連絡：甲良町在土373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。

©日本共産党の見解を紹介いたします。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

☆くらし・税金・教育などの相談、感想もどうぞ！ 西澤伸明 38-4949